

成果報告書

平成 30 年 2 月 16 日

団体名 都留アルプス会

1. 団体の概要

山歩きを楽しみ、自然及び山を愛し、会員相互の親睦を図ることを目的とする団体「クレイン山の会」を母体としており、都留市の自然活用推進のボランティア活動を行うことを目的として設立した。会員数 45 名

2. 活動のテーマ

都留市が誇るものとして、歴史・文化・自然がある。
その中の自然を活用し、市外から人を呼び都留市の活性化を図る。
又、自然を活用することにより、市民の健康増進と活力増加を図る。

3. 活動の目的・内容

自然豊かな都留市は、周りを山に囲まれている。その山々はハイキングコースとして利用されている。

都留市のほぼ中央には、全長約 8 キロに渡り標高 500m から 650m の山々が山脈をなしている。

中高年の登山ブームは定着し、山ガールなど若い層も山歩きを楽しんでいる。

この小さな山脈に「都留アルプス」と命名し市内外に広く PR し、多くのハイキング客を招くことにより都留市活性化策の一つとしたい。

各地には、低山が連なる山々を「〇〇アルプス」と名づけ人気を博しているところが多くある。

一部例を挙げると、「沼津アルプス」皇太子がハイキングされたことで有名。「鎌倉アルプス」、「三浦アルプス」、「房総アルプス」、「長瀬アルプス」「宇都宮アルプス」などがある。

「都留アルプス」は全長を歩くと 5 時間ほど掛かり、かなりしっかりしたハイキングコースになる。しかし途中に 7 箇所ほど下山する道があるので変化の在るコースを設定することが出来る。

ファミリーコース、中級コース、健脚コース等変化に富んだコースが設定出来、途中に烽火台跡、ピーヤ、富士山の眺望、都留市街の眺望等魅力のポイントもある。

この「都留アルプス」を整備し、市内外に広く宣伝し、都留市を代表する観光ポイントの一つとしたい。

4. 活動の概要

(1) ハイキングコースの調査、整備

コースを調査し、50 本を超える倒木を除去、また笹藪等を整備。

(2) 道標を作製し分岐等に設置

ハイカーが安心して歩く為には、ハイキングコースの道標は重要である。

80枚を越える擬木の板に白ペンキで文字を書き、ポールに組み立て、約50本の道標を設置。

(3) ハイキングマップの作成

ハイキングマップはハイキングには必要なものである。

何度も現地調査を行い、ハイキングマップを完成。

(4) ハイキングコース完成を記念しての、ハイキングイベントの開催を計画し告知
新聞等マスコミにニュースリリースを実施。

関東の山の会約40グループにDM実施。

都留市広報掲載。

(5) 樹木の調査

ハイキングをより楽しめるよう、都留文科大学の協力を得、樹木を調査し樹木名のラベルを取り付けた。

(6) ハイキングイベントの実施

11月26日(日)「都留アルプス」ハイキングコースの完成を記念して、ハイキングイベントを実施した。

都留市駅をスタートし、都留アルプスを歩き、東桂駅、都留文化大学前駅、谷村町駅を目指す内容で、最長は約5時間のコースとなる。

約250名の参加があり成功裡に終わった。

参加者の内訳は、市内50%、市外県内13%、県外37%であった。

参加者の評判は大変良く、歩きやすい、最長のがつつりコースは変化もあり満足した。

都留市に新たな観光地が誕生した。等の感想があった

ア. 活動の詳細 別添の通り

イ. 記録写真 別添の通り

ウ. 活動が掲載された新聞雑誌等

「新聞」

- ・平成29年5月12日 山梨日日新聞
- ・ // 9月28日 毎日新聞
- ・ // 10月3日 朝日新聞
- ・ // 10月30日 読売新聞
- ・ // 11月9日 山梨日日新聞
- ・ // 11月28日 //
- ・ // 11月28日 読売新聞
- ・ // 12月23日 朝日新聞

「雑誌」

「山と溪谷」12月号 山と溪谷社が発行する山好きのための月刊誌。

「都留市広報誌」10月号

「インターネット」数多く掲出された。

※ 内容 別添の通り

5. 得られた成果

(1) ハイキングコースの整備により、都留市に新たな観光資源が出来た。

(2) ハイキングイベントの実施により、市外や県外にも広く告知できた。

都留市は今後、イベントを年2回（春・秋）実施し、定例化する計画となった。

(3) 都留文科大学や都留健康科学大学との協力により活動範囲が広がった。

6. これからの課題

「都留アルプス」を各地に多くある「アルプス」の中でも有名なアルプスとして、大勢のハイキング客を呼び込む為に引き続きPR活動を行う必要がある。

「都留アルプスフリーハイキングイベント」を年2回春と秋に実施する事を定例化し広くPR活動を行う必要がある。

都留市民の健康促進にもハイキングは有効である。市民のハイキングを促進する必要がある。

上記事項を促進する為に産業課がイベント実施を積極的に推進し、教育委員会、福祉課は市民のハイキングを推奨するなど市を上げてハイキングを促進することが必要と思う。

アルプス会は都留市の活性化を目標として、ハイキングコースの利用増を図る為「都留アルプス」のコース整備を行い、さらに魅力あるコースとしていきたい。

その為に、ビューポイントや歴史的ポイントには説明看板等を設置していきたい。

以 上

「都留アルプス会」活動報告

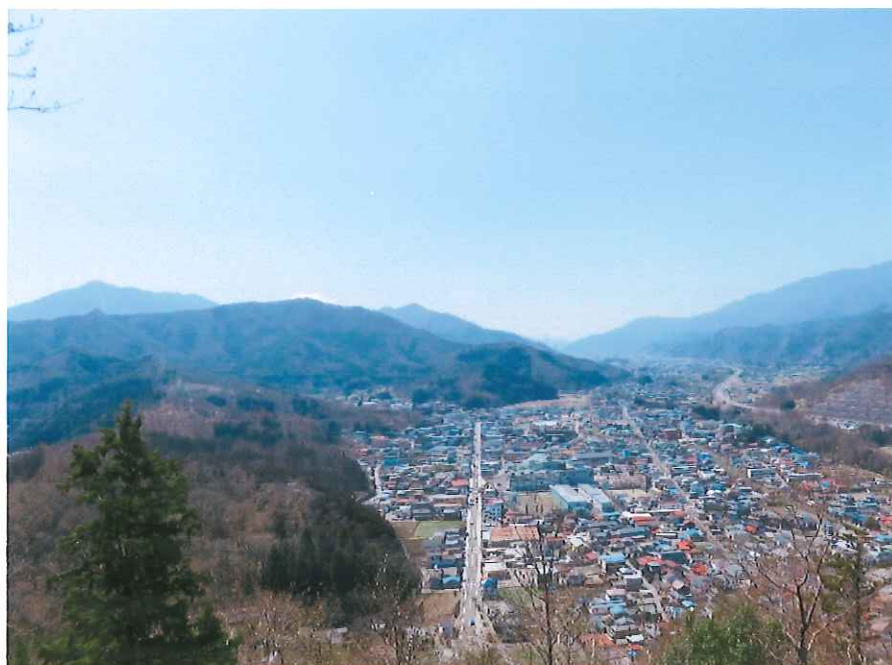
都留アルプス会平成29年度の活動を下記の通り報告いたします。

平成30年 1月 31日

活動日	項目	内容	活動参加人員
4月14日(金)	都留アルプス登山道整備	倒木処理、登山道整備調査を実施。	15
5月27日(土)	長瀬アルプス調査登山	都留アルプス計画の参考とするため、秩父にある有名な長瀬アルプスを実践した。	5
6月 9日(金)	都留アルプス計画プレゼンテーション	都留市民委員会に計画をプレゼンテーション	3
6月24日(土)	都留アルプス尾崎山コースを実践調査	都留アルプス尾崎山コースを実践し、勧められないコースと判断。	6
7月 8日(土)	都留アルプス道標調査	都留市駅からアルプス、東桂駅まで歩き、道標設置場所を調査。	7
8月 9日(水)	都留アルプス登山道整備	坂道階段の補修等を中心に実施。	9
8月22日(火)	都留アルプス道標板文字のペンキ塗り作業	コストを下げる為、道標板は黒擬木板に文字を彫っただけの状態での納品。会員が白ペンキを文字に入れた。	15
8月30日(水)	都留アルプス道標板文字のペンキ塗り作業	”	14
9月 5日(火)	都留アルプスハイキングマップ完成	ハイキングマップ15,000部を関係向きに配布。道の駅他市関連施設、富士急行線各駅に掲出。	
9月 6日(水)	都留アルプス道標設置	都留市駅からアルプス、東桂駅まで約50本の道標を設置。	25
9月13日(水)	高川山調査	高川山の道標設置状況を調査。	8
9月中旬	都留アルプスハイキングコース完成と完成記念イベントの実施を告知	県内マスコミにニュースリリース、山岳雑誌、関東圏の山の会にDMを実施。	
9月20日(水)	今倉山・二十六夜山調査	今倉山・二十六夜山の倒木状況、道標設置状況を調査。	6
9月22日(金)	都留アルプス樹木調査	都留分科大学北垣先生・学生とアルプスの樹木名について調査。	11
10月 9日(月)	都留アルプス樹木名ラベル取付け	調査した樹木に樹木名と説明書きのあるラベルを取り付けた。22枚	5
10月10日(火)	都留アルプス整備	倒木処理。道標・樹木名ラベルの追加設置を実施。	16
11月 4日(土)	都留アルプス烽火台説明板設置	烽火台跡に説明板を設置。	3
11月20日(月)	都留アルプス登山道整備	26日実施のイベントに備え、倒木処理、草刈、ロープ設置、目印のテープ取付け、道標の追加設置等を実施。	10
11月26日(日)	「都留アルプスフリーハイキング」イベント実施	・約250名が参加し、成功裡に終了した。 ・参加者内訳は市内50% 市外県内13% 県外37% 評判は良く。 歩きやすい。がつつりコースは変化もあり満足した。 都留市に新たな観光地が誕生した。等の感想があった。	35

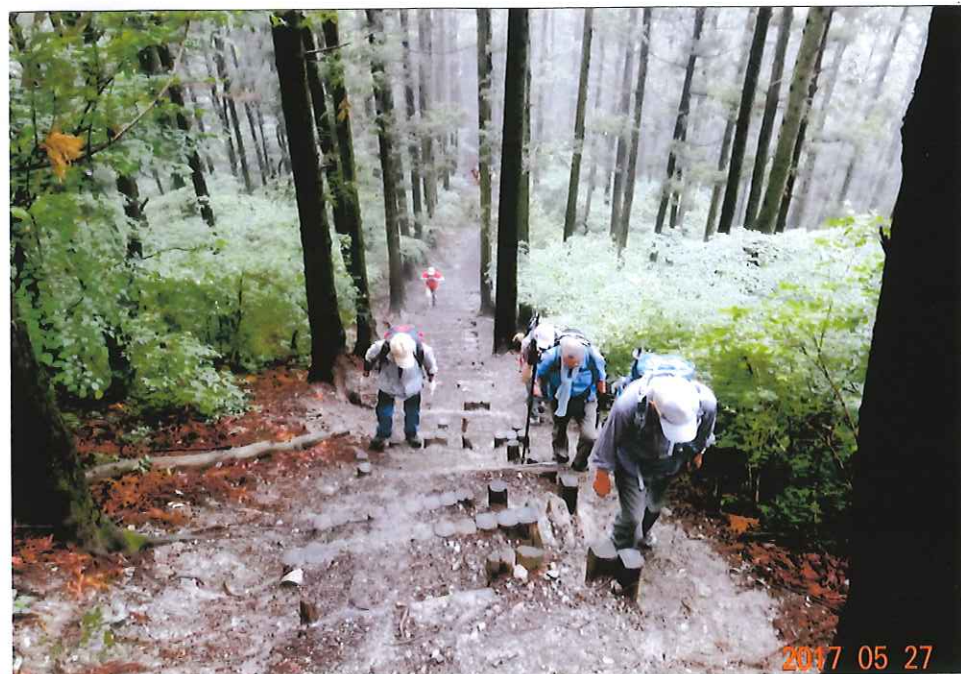


ミツマタの群生発見 平成29年 4月14日



4月14日 展望台より富士山方向、都留市の街並み

長瀬アルプス (宝登山) 調査登山
平成 29 年 5 月 27 日



「都留アルプス」調査 メンバー8名 平成29年7月8日(土)







